

第 64 回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録(案)

1. 日 時：2015 年 4 月 22 日（水） 13 時 30 分～17 時 20 分
2. 場 所：日本機械学会 第 3・4 会議室
3. 出席者：青山(東大)、櫛田(MHPS)、茂田井(東電)、大橋(中電)、長谷川
(発電技検)、逢澤(MHPS 日立)、飯島(日溶協)、山下(神鋼)、
水谷(東工大)、幅野(IHI)、原田(東芝)、川端(関電)
- 欠 席：飯田(東電)
- オブザーバー：鈴木(東電)
- 事務局：原

4. 配付資料

- 64-1 第 63 回溶接分科会議事録(案)
- 64-2 溶接分科会委員名簿
- 64-3 第 71 回火力専門委員会議事録(案)
- 64-4 IIP 検討状況
- 64-5 第 73 回発電設備規格委員会議事録(案)
- 64-6 書面投票意見
- 64-7 2015 年追補版改訂原稿
- 64-7-2 追補版対比表
- 64-8-1 審議履歴表
- 64-8-2-1 レビュー票 VI 章 アーティクル 7(JWES)
- 64-8-2-2 ブルーライト調査報告
- 64-8-3 レビュー票 VII 章 アーティクル I (関電)
- 64-8-4-1 アーティクル 2 で引用されている図書の調査結果(東芝)
- 64-8-4-2 レビュー票 VI 章 アーティクル 2(東芝)
- 64-8-5 レビュー票 VII 章 アーティクル IV(東電)
- 64-8-6 レビュー票 VI 章 アーティクル 1(発電技検)
- 64-9 登録安全管理審査機関への JSME 規格説明会について

5. 議事

- (1) 前回議事録確認 [資料 64-1]
前回議事録(案)について確認を行い、議事録(案)が承認された。
・ 5. (4-3) 4) アーティクル 6 → アーティクル 7 に訂正する。

- (2) 分科会委員・役員の承認 [資料 64-2]
出席委員全員の賛成により、青山委員、幅野委員、原田委員、長谷川委員を
再任候補として次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。
また、互選により青山委員が主査に再任された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 64-3]

第 71 回火力専門委員会(2 月 25 日開催)の審議内容について報告された。主要な事項は以下のとおり。

- 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- 各分科会委員・役員の承認
- 第 62 回溶接分科会報告
 - ・ 追補版資料の準備状況の報告
 - ・ レビュー票審議状況の報告
 - ・ QW-404.35 「wire」と「electrode」に対するコメントについて文面から、サブマージド・アーク溶接のワイヤ(消耗電極)を指しているの
で、「electrode」は当初案どおり「ワイヤ」とし、次回火力専門委員会
において説明することを確認した。

(3-2) I I P 委員会検討状況の紹介

[資料 64-4]

資料 64-4 に基づき、発電技検の I I P 委員会の検討状況について紹介した。
安全率は 3.5 と 4.0 を当面併記する方向。報告書が 5 月に経済産業省のホーム
ページにアップされる見込み。

(3-3) 規格委員会報告

[資料 64-5]

第 73 回規格委員会(3 月 11 日開催)の審議内容のうち、火力に関連する内容
が報告された。

主要な事項は以下のとおり。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
 - CA1-2005 改訂案、TA-O,TA1,2-2012 追補案の審議状況等の報告
- ・ 発電用火力設備追補案の審議
 - 追補案については、火力専門委員会での書面投票の可決を条件に、規格委員
会書面投票を実施することが承認された。

(4) 審議事項

(4-1) 発電用火力設備規格追補案

1) 書面投票対応

[資料 64-6、64-7-2]

火力専門委員会の投票 No66 において、溶接分科会関係の投票 No4 は可決
となった。再投票の No67 は 4 月 23 日までの期限で現在投票中。

茂田井幹事より、火力専門委員会の書面投票 No66 と再投票の No67 に
おける溶接分科会に係る参考意見とその対応案について、資料 64-6 により
説明があった。

- ・ T753.3 の「必要な磁場の強さ」は「必要な磁界の強さ」に修正する。それ
以外については資料 64-7-2 のとおりとする。

火力専門委員会の書面投票 No67 の可決後、発電設備規格委員会の書面投票

があるので(4月下旬～5月下旬)、書面投票において意見が出れば対応案の検討・確認をお願いしたい。

2) 追補版原稿の確認

[資料 64-7]

- 追補版改訂原稿(資料 64-7)を各委員が持ち帰り、5月15日までに修正点、気付いた点などがあれば、分科会三役に連絡する。
- 追補版の原稿は、規格委員会の書面投票意見対応により、変更になる可能性がある。
- 6月10日の規格委員会以降に公衆審査が予定されている。公衆審査までに、公衆審査用の追補版原稿を準備する。
- T-120.1 注3の「および ACCP[Revision3 (November1997)];" ASNT Central Certification Program;"」は削除する。

(4-2) レビュー票審議

- 1) 第Ⅶ章 アーティクル7 T710～T777.2(飯島委員) [資料 64-8-2-1,2]
T710～T777.2 のレビューと、APPENDIX IV ブルーライトに関する調査結果の報告。
 - ・ T720 変更区分を、B → C とする。
 - ・ 表 T-721 performance は装置も含めた performance なので、「技量の実証」は、「パフォーマンス・デモンストレーション」に戻す。
 - ・ T751 2012 年版では火技解釈に合わせ、開先面の試験方法の場合は、(a),(b),(d)に限定していたが、普及状況等を考慮し、改訂版では(c),(e)も詳細規定に取り込むこととする。基本規定における扱いを検討し、取り入れる場合は、省令適合性を確認した資料を残す。
 - ・ T752.3 理由の欄 IS → SI (誤字修正)
 - ・ T764.2 削除してある人工きずシムに関する記載は、火技解釈を確認して、削除するかどうかを判断する。

T777.3 以降は、次回審議を行う。

2) 第Ⅵ章 アーティクル2(原田委員)

[資料 64-8-4-1]

資料 64-8-4-1 に基づき、アーティクル2 放射線透過試験の規格内で引用されている関連図書について、引用規格とその概要、コメントについて説明があった。

- 引用されている規格については、和訳での取り込みは不要と判断する。
引用については、他の箇所との整合性を考慮するが、現状のとおり残す方向を確認した。
- T-233.1 の1行目「ASME 規格による場合は」、5行目「ASME」は不要なため削除。T-233.2「国内または国際的な規格に従って製作された」についても分かりづらいため、表現を見直す。

レビュー票(T-260～)は、次回審議を行う。

3) 第Ⅶ章アーティクルⅠ(関電)、第Ⅶ章アーティクルⅣ(東電)、第Ⅵ章アーティクル 1(発電技研)

○ 次回審議を行う。

(4-3) その他

○ 茂田井幹事より資料 64-9 に基づき、登録安全管理審査機関を対象にした JSME 火力設備規格説明会について、情報提供があった。

6. 次回開催予定

- ・ 時間：2015 年 5 月 18 日（月）13 時 30 分から。
- ・ 場所：東京大学工学部 8 号館 2 階 222 会議室